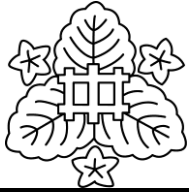


2015



# 石神井中だより

平成27年11月24日 発行 11月号

- 明るく、健康な生徒
- 正しい判断力を持ち、主体的に  
学び行動する生徒
- 豊かな情操を持ち、品位ある生徒

<http://www.shakujii-j.nerima-ky.ed.jp/>

## 影 響 力

副校長 松本 久

文化発表会も終わり、秋も後半になりました。秋は過ごしやすく、そして様々なことに挑戦しやすい季節と言われています。食欲の秋・読書の秋・スポーツの秋など、何かを始めるには一番いい季節です。

先日、ラグビーのワールドカップ（W杯）2015では、日本代表がベスト8入りには惜しくも届かなかったものの、ラグビー史に輝く大きな歴史を作り、世界の人々に「感動」や「勇気」を与えました。そこで今回は、スポーツが人々に与えた「感動」や「勇気」について、1つ紹介したいと思います。

コートジボワール共和国は、1999年に軍と政府の対立が起こり、2002年に内戦が勃発しました。2005年、内戦の真っ只中、代表選手のディディエ・ドログバ選手は、翌年のドイツW杯の出場を決めた試合直後に、ロッカールームにTVカメラを呼び、次のようなメッセージを送ったのです。

「コートジボワールの国民の皆さん、今日ワールドカップ出場という共通の目標のもと、コートジボワールの様々な民族が共存してプレーできることが証明されました。歓喜によって人々は団結できます。今ここでひざまずいてお願いします…どうかお願いします。豊かなコートジボワールで内戦が起きるのは許されません。武器を捨ててください。そして選挙をしましょう。それですべて良くなるはずです。」

このドログバ選手の呼びかけに多くの国民が心を動かされ、内戦が一時停止したのです。その後2007年、いつも南部で開催されていたコートジボワール代表の試合を、反政府組織が占領していた北部で行うことを大統領に直談判しました。この試合がメディアに注目され、政府側と反政府側の和平に向けたきっかけとなったのです。

人は物事に集中して夢中に取り組むと新たな自己を発見し、多くの事を学び吸収していきます。それがその後の生き方や取り組み方、人との接し方などを変えていきます。そして、そういう取り組みを見て、人々の心は動かされます。スポーツを見て感動するのは、決して勝つからだけではありません。勝つことの向こうに、その人のひたむきさや必死さやそこに至るまでの努力を感じるからです。「スポーツや芸術や音楽などを通して、何を学んだか」を大切に、自分を成長させていきましょう。